

三菱総合研究所（MRI）の未来共創プロジェクトでの「つくりたい未来を実現するための8つの鍵」を活用した取り組み（結果報告）

（取り組みの経緯）

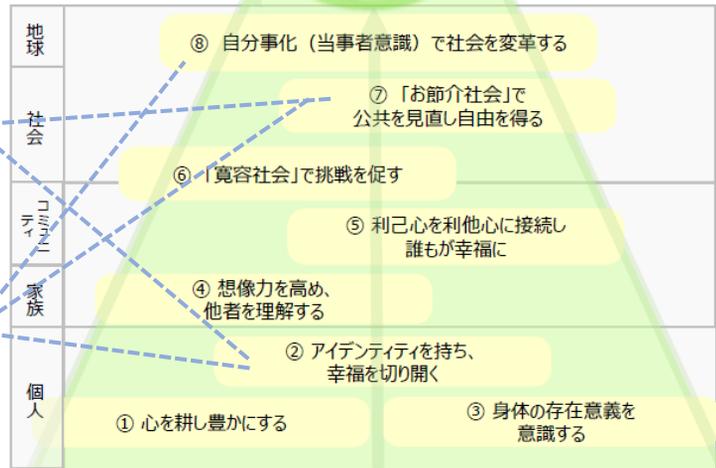
- ✓ 2021年度に、「未来社会デザインオープンプラットフォーム（CHANCE）」の賛同機関で、2050年の未来像を具体化し、課題を見出す取り組みを行いました。その結果をレポート「つくりたい未来を実現するための8つの鍵」にまとめ公開しました。 <https://www.jst.go.jp/sis/co-creation/items/8keys.pdf>
- ✓ 2022年度、いくつかの賛同機関において、このレポートの「8つの鍵」を活用した取り組みが行われています。
- ✓ 三菱総研（MRI）では、「社会課題ワークショップ」に続き、「未来共創プロジェクト（FCP）」の2つの領域で、「8つの鍵」や関連研究に関する情報提供を行い、ワークショップの議論を深めることに役立てました。

未来共創プロジェクト（FCP）

1. 食生活イノベーション
キーワード
食を通じたコミュニケーションコミュニティづくり

2. ウェルネス
キーワード
(身体や心の健康だけでなく) 社会的健康

8つの鍵



（取り組みの概要）

■ 未来共創プロジェクト（FCP）

解決を目指す社会課題のテーマを設定し、そのテーマに共感する企業や団体が集まり、ワークショップを通じて社会へのインパクト創出に向けて取り組むプロジェクトです。具体的には、課題の構造化、ビジネスモデルの探索や設計、政策へのアプローチなどに取り組みます。

■ CHANCEのアウトプット「8つの鍵」の活用と関連研究のインプットについて

1. 食生活イノベーション第2回（2022年10月25日）

- ・「8つの鍵」から：「お節介社会」や「アイデンティティ」という鍵概念が、高齢者が自らの意志で主体的に周囲との関係を築くという日下先生の「シェアダイニング」の問題意識と共通するということが語られました。
- ・日下菜穂子先生（同志社女子大；JST未来社会創造事業研究代表）から：美味しさの共創で人々がつながり、自律的に拡張する「シェアダイニング」の研究成果を食のコミュニケーション機能として共有されました。
- ・グループ討議では、既存のサービスの中での実現、スーパーの交流＆調理の場としての活用、料理提供における交換可能なポイント化、コワーキングスペースでの活用、冷蔵庫シェアなどのアイデアが生まれました。

2. ウェルネス第3回（2022年11月28日）

- ・「8つの鍵」から：「アイデンティティ」、「お節介社会」、「自分事化」は、島田先生の孤立孤独を予防するボランティアシステムと共通の問題意識に基づくことがインプットされました。
- ・島田裕之先生（国立長寿医療研究センター；JST RISTEX SOLVE事業研究代表）から：インセンティブ付きのボランティア実施を介した孤立・孤独予防支援システムの研究を、「社会的健康」から「身体的健康」へという文脈で共有されました。その後のグループ討議で、運動や交流の促進に関する仕組みやインセンティブについて議論が交わされました。

■ MRI関連ホームページ

- ・食生活イノベーション：<https://icf.mri.co.jp/activities/activities-9552/>
- ・ウェルネス：<https://icf.mri.co.jp/activities/activities-9586/>